



三芳みらい
山口 正史

スマートインターのフル化に関して 大型車の通行をどのように考えているか

問 スマートインターのフルインター化で大型車の通行を検討されているが、どの地区の何社程度の企業にメリットがあるのか。

答 政策秘書室長 メリットがある地区は上富、北永井、藤久保と予想される。企業数に関しては把握していない。

問 町の企業の空洞化が懸念され、フル化で対応したいとあるが、その根拠は。

答 政策秘書室長 平成20年のアンケート調査で70%以上の企業がフル化を希望している。フル化によりメリットがあると考える。

問 同調査で、企業側の問題点は、施設拡大が難しい、公共交通が不便、施設の建築基準が厳しいがトップ3で、関越道へアクセスしにくいのは14%弱だが、フル化により空洞化が防げるのか。

答 政策秘書室長 同調査では、規制があっても現在の場所での活動するとの企業が8割近くある。

問 フル化による三富地区の地価上昇で相続税が上がると、更に農地が減少する懸念はないのか。

答 政策秘書室長 最近では地価公示価格の下落が続い



スマートIC

ている。また市街化調整区域のため、地価上昇の可能性は低いと考えている。

問 フル化では周辺道路の整備等が予想されるが、どの程度の投資額と予想しているか。

答 政策秘書室長 フルインターの形状により投資額は大きく異なる。周辺道路の整備、交差点改良などで10億から15億になると想定している。

問 住民の意思はどのように反映されるか。

答 政策秘書室長 意見交換型世論調査や町民の意見を聞く場を設け、情報提供や意見交換を積極的に実施する。



公明党
内藤 美佐子

万が一の災害に万全に備え町民の命を守れ！ 被災者支援システム・業務継続計画は重要

問 災害時の行政サービスを迅速化する「被災者支援システム」の導入検討は。

答 自治安心課長 災害現場には有効なシステムだが、サーバー構築に数百万の費用がかかるので、予算面も含めて検討する。

問 災害時の自治体業務を滞りなく行う為の業務継続計画（BCP）策定進捗は。

答 政策秘書室長 現在準備中で、今年度中には計画策定を完了する。

問 災害対策基本法が改正されたので防災会議への女性参画が推進出来るのでは。

答 自治安心課長 対応できるように、町条例改正を考える。

問 避難所になる学校等にもオストメイト対応トイレの設置が必要では。

答 自治安心課長 一部にでも備えられれば、対象者には知らせることもできるので十分研究したい。



三芳町子ども読書活動推進計画

問 学校給食会調達の主食は割高なので、保護者の負担軽減に仕入れ先の変更は。

答 教育総務課長 米飯の安定的な供給を考慮して、学校給食会で調達している。

問 学校給食費の透明性・余剰金の明確化のために私会計を公会計へ移行しては。

答 教育長 新給食センター稼働に合わせ総合的に検討する。

学校給食について



三芳維新の会
細田 家永

死亡事故3件発生！ 交通安全対策はどうなっている！

問 今年町内において3件の死亡交通事故が起きていますが、4件になると県より特別対策地域に指定され、当町としても大変不名誉なことだが、この事故をどう認識しているのか。

答 自治安心課長 3件は北永井、竹間沢、藤久保で起きているが、近年では交通安全対策協議会等の交通安全関係者で啓発活動や教育に取り組んできただけに大変残念であり、深刻な状況と認識している。

問 3件の死亡事故が起きたことから「三芳町交通事故防止対策及び取り組み方針を定める。」とあるが、具体的にどう取り組むのか。

答 自治安心課長 県より特別対策の要件を満たす恐れがある（4件発生）と指摘があり会議が開催、県の担当課、東入間警察、教育関係、三芳町からは道路交通課、自治安心課、学校教育課などで対策や取り組み方針を定めて実施するものであり、柱と



スクールゾーンは守りましょう

して高齢者の事故防止、児童生徒達の夏休みの事故防止、自転車の事故防止である。

問 埼玉県の死亡事故の48%が高齢者だが、高齢者に対する啓発活動は。

答 自治安心課長 5月に北永井で協働のまちづくりネットワークによる自転車講習会、あるいは、交通安全母の会による高齢者声かけ隊など、こういった交通安全団体を町は積極的に支援していきたい。

問 路面標示や看板の設置は住民の要望がないと設置しないのか。

答 道路交通課長 今後もし引き続き、調査を行い、住民の方々の情報提供及び、要望を頂き、万全の交通安全対策を講じていきたい。



公明党
岩城 桂子

子どもの交通安全対策の強化を！ 通学路の「緊急合同総点検」の検証は

問 亀岡市の事故などを受け、通学路の交通安全対策について学校、道路管理者、地元警察による緊急合同総点検を実施したが、その結果と対策はどうか。

答 学校教育課長 道幅が狭く歩道がない。信号機がないなどの危険箇所が18箇所見つかかり、教職員や学校応援団の協力の下校時の見守り活動・信号機の設置要望・道路の路面標示の対策等を担当課と連携を図った。

問 継続的な通学路の安全対策を推進する条例の策定はどうか。

答 自治安心課長 交通安全を担う各関係機関と連携し実効性ある計画なり条例なりを図っていきたい。

問 学校の交通安全教育は、登下校指導や安全マップを活用した班長指導などを

行っている。

問 竹間沢小学校前の町道46号線の歩道整備の進捗は。

答 道路交通課長 地権者との交渉が得られず、今後道路標示をしていきたい。

問 藤久保1番地とふじみ野市道接点地域の雨水対策の進捗は。

答 町長 ふじみ野市に對策を依頼。行政区からの要望を検討中。

問 子宮頸がんは毎年1万5千人が罹患し約3500人が死亡している。昨年より中学1年から高校1年の女子が対象で予防ワクチン接種が全額助成されたが、接種率と周知方法は。

答 保健センター所長 40%の接種率で教育委員会を通じて周知。私立の生徒には個別通知をし広報やHPでも周知徹底した。

その他の質問

子宮頸がん検診の併用検査について



三芳維新の会
石田 豊旗

火星と木星間に小惑星「三芳町」を発見 小さな星に大きな夢を

問 川越街道からみよし台を経て富士見市に流れている唐沢堀は6割強が暗渠であり、残り部分も暗渠にして、住民の通勤路、通学路、遊歩道として活用しては。
答 道路交通課長 沿線住民の防犯上、プライバシー性を考慮して、住民の総意があれば利用可能かを検討していきたい。

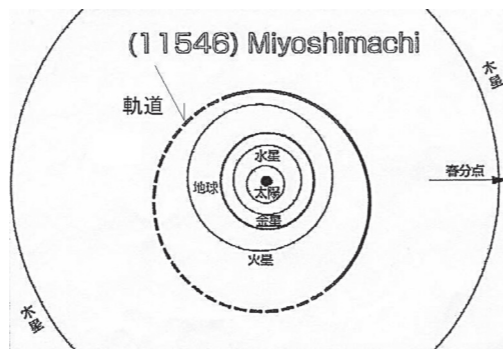
問 本年度予算化された、みよし台第1区集会所のトイレの洋式化工事はいつになるか。
答 自治安心課長 本年中には完了させる。

問 青少年健全育成事業で「宇宙に一つの三芳町」とは、どのような意味なのか。
答 生涯学習課長 昨年世界的な小惑星ハンターとのお話で、冗談のつもりの新小惑星発見の節は、三芳町という名前にしましょうという話しが2011年12月10日に、本当の話となったこの小惑星は「いとかわ」の約10倍程の大きさで、太陽を中心に約4年弱で火星と木星の間を回っています。三芳町という星が存在することを青少年育成に活用していくこと。

問 この小惑星を三芳町の観光資源にして大々的に活用しないのか。
答 観光産業課長 初めて聞く話であり、今後生涯学習課とも連携を取り活用を考えた。

問 多様化する生徒の夢を叶える為にも藤久保中と三芳東中を合併して施設の有効活用と先生の能力に適した新しいクラブの創設は。
答 学校教育課長 色々と制約もあり統合については考えていない。

問 少子化により児童数の少ない上富小と三芳小を統合しては。
答 教育課長 小規模校のメリットもあり現状では考えていない。



三芳町の都市整備計画について 自然環境保全を含む土地利用構想を早急に

三芳みらい
抜井 尚男



問 土地利用構想はまちづくりには重要な課題であるが、今後の方向性をどの様に捉えているのか。
答 政策秘書室長 土地利用用途が混在する地域は、実態や課題を整理して適正な見直しを行う。住宅ゾーンは自然環境に配慮した生活環境の整備を実施し、農業自然環境ゾーンは現状維持を基本に緑保全に努める。

問 都市計画道路（竹間沢大井勝頼通り線及び、みずほ台駅西通り線）の今後の整備延長工事の方向性は。
答 都市計画課長 今後の検討していきたい。

問 計画決定から40年も経過しているので早急に検討していただきたいがどうか。
答 都市計画課長 今後は市街化地域の整備状況を踏まえながら検討していく。

問 都市整備投資（新規事業）に地域格差があるが（過去3年間で約、上富7300万、北永井1億5000万、藤久保20億、竹間沢8000万）どの様に捉えているか。
答 政策秘書室長 バランス良く計画的に整備投資をする。それぞれの地域拠点整備も重要と考えている。

問 竹間沢字生田窪は消火栓未設置だが対応は。
答 上下水道課長 敷設計画を策定しその後設置。



問 自然環境保全で公園整備計画はどうなっているか。
答 都市計画課長 策定委員会等で検討中、26年度には自然の森・スポーツ公園の整備着手の予定。
問 保存樹木の管理及び事故の対応について。
答 都市計画課長 樹木診断や枯枝選定の管理は町で行い賠償責任保険も加入済み。6月の竹間沢地内枝落



公明党
小松 伸介

被害を最小限に抑える防災・減災対策実施を 天井・壁等の非構造部材の耐震化の状況は？

問 アンケートの実施は。
答 学校教育課長 毎学期1回以上のアンケート調査を実施。4月からのいじめ

問 道路・橋梁等の劣化・修繕はどのような状況か。
答 道路交通課長 耐用年数の経過等で痛みが進んでいる。道路は出来る限りの修繕を実施。橋梁は関越自動車道の橋は修繕完了。砂川堀の15橋は、これから橋梁点検、修繕計画、設計委託等を行い、平成28年から工事着手を考えている。

問 フォレストベンチ工法を当町でも実施しては。
答 道路交通課長 優れた工法と認識。取り入れられる所があれば検討したい。

問 非構造部材の耐震化は。
答 財務課長 天井材・照明器具・壁等は進んでない。

問 今後の耐震化計画は。
答 財務課長 学校施設は文科省から方針が示されている。公共施設は国交省の思案に対するパブコメ結果、また公共施設マネジメント等を勘案し、点検・改修に財源がどの程度必要かを研究した上で、計画的に非構造部材の耐震化を図りたい。



問 国道254号線と幹線16号線の交差点に信号機は。
答 道路交通課長 設置の方向で進んでいる。

問 認知件数は小学校2件、中学校5件。現在全て解決済み。
問 保護者に対しては、家庭用いじめ発見チェックシートを配布してはどうか。
答 学校教育課長 平成19年に一度、全戸配布済み。今後は学校に投げかけ、取り組めればと考えている。

問 対策の内容については。
答 学校教育課長 相談体制の充実と、いじめは絶対許さないという意識を児童に醸成する指導をしている。

安心して住み続けるための〈元気な足〉確保 中央公民館の名称・減免制度の存続は必要

日本共産党
杉本 しげ



問 「国民の移動する権利」は、憲法の基本的人権の保障でもある。また公共交通は、医療・福祉・教育・観光等の様々な施策の土台となるもので重要だ。交通プロジェクトの進捗状況は。
答 政策秘書室長 昨年は基礎調査を行った。それをもとに今後は「基本計画案」と「具体的運行計画案」を立てていく。

問 既存のバス路線との競合を避け、昼間の利用目的に合わせた公民館や集会所などを結び、役場などを中継場所とし、東西方面に小型循環バスの運行は。その際病院などとの連携はどうか。
答 政策秘書室長 貴重な意見として参考にしたい。

問 公民館の運営方針
答 これまでの減免団体が有料となる改正だ。公民館活動はどれも町を支え発展させる活動。生きがいを持ち人との豊かな交流で、真の住民参加を果たしている有料などあり得ないのではないか。

問 生涯学習課長 様々な利用の形がある。趣味サークルなどの公民館利用者は料金を求めることとした。
問 職員を減らし民間委託職員を配置するとしている。公民館運営審議会でも職員に期待している。専門職員を置き活動支援の強化を。
答 生涯学習課長 正規職員のすべき仕事は何か、安全管理等を考え検討していきたい。

問 社会教育法のもとで設置された公民館の目的を重視し、中央公民館の名称は残すべきではないか。
答 生涯学習課長 学習や交流だけの目的ではなく、どう使っていくかを考え名称の検討を提案している。

問 関越自動車道にかかる橋梁への歩道設置について
答 その他の質問

問 地域公共交通について





日本共産党
増田 磨美

住居表示の適正化と実施の時期について 保育所待機児童解消策と事業仕分の意見

問 第4次総合振興計画の中に「住環境の整備をして住居表示の適正化を進める」「適正な実施に向けては調査研究を進める」とありまちづくり懇話会でも住民から「何年も前から整備するよう言っているがいつから始めるのか」等質問があった。町の進捗状況は。

答 政策秘書室長 区画整理事業の進捗状況を見て検討していく。

問 同規模町村では、整備が終わっている所が多い。三芳町でも早く決定し実行に移すべきなのでは。

答 町長 しっかり調査研究を進めて考えていきたい。

事業仕分の図書館資料購入費整備事業について

問 担当課の出した事業評価結果で評価の低かった「達成度」の理由は何か。

答 図書館長 辞典、年表、白書等の参考図書が古くなり内容に変更があっても高価で買換えができない等。

問 町民の知力や向上心、地域住民・施設との連携を支える図書館の更なる充実を図るべきなのでは。

答 教育長 求められる資



富士塚公園トイレ火災
夏のおはなし会

その他の質問



久保 健二

安心・安全を第一に考えたまちづくり！ ペット問題にメス！我が町にドッグランを！

問 近年増え続けるペット事情をどう捉えているか。

答 環境課長 しつけやマナーを守ることが社会生活において飼い主の責任になる。ペットを飼う場合はマナーを守っていただきたい。

問 しつけ教室など行ったことはあるか。

答 環境課長 二市一町で組織する狂犬病予防協会のほうで年一回開催している。

問 今後、ドッグラン設置をどのように進めていくか。

答 都市計画課長 行政主体での運営は難しい。団体等の組織化が進めば運営方法等協議したい。

問 町民への憩いの場の提供として町営プールの建設を考えるがどうか。

答 町長 町民プールがあったらいいなとは考えるが財政が厳しい。緊急性や必要性が高まれば考えたい。

問 防災無線の点検は定期的にしているか。

答 自治安心課長 年に6回行っている。

問 聞こえにくい、聞こえないという地域への対応は。

答 自治安心課長 聞こえにくい箇所は50から60ポイントにのぼっている。そのエリアの音量等を重点化し

その他の質問

①防犯灯について
②小・中学校保育所及び公民施設の整備について
③北永井第2区屋外トイレについて



2012/09/28
町道幹線 20号線あすき保育園前

みよしの街をバスが駆け巡る ～交通不便解消はいつか～

三芳みらい
菊地 浩二



三芳町の新しい公共交通を考えるために「未来創造みよし塾」では3年をかけた研究し、政策提言することとなった。喫緊の課題といわれ続けており、足の確保を待ち望んでいる住民は多い。研究期間の半分を過ぎ、今後どのような検討をするのか伺う。

問 どのように検討しているのかよく見えていない。進捗状況はどうか。

答 政策秘書室長 23年度中に報告書を発表した。その後、長期計画策定のため全町アンケートの準備をしている。また短期的には地域・期間等限定して試行的な公共交通を実際に走らせるために具体的な運転計画案を策定することを目指している。

問 会議そのものは非公開で行われている。なぜ公開されないのか。

答 政策秘書室長 職員も含めて市民との検討チームなので非公開としている。

問 秋に視察が予定されているが、どういった視点で視察先を選定するのか。

答 政策秘書室長 デマンド交通やコミュニティバス等先進事例を計画している。



問 住民との意見交換会など、直に意見を交わし合う予定はあるか。

答 政策秘書室長 予定はないが、課題としたい。

問 今の進め方で25年度中の提言ができるのか。

答 政策秘書室長 25年度中に計画案が策定できるように進めている。

問 3年は待てないという声も多いが、持続可能な良い提言をしていただきたいがどうか。

答 町長 公共交通の導入は多くの住民の皆さんが望んでいる。3力年の研究の中で結果を出し、26年度から新しい公共交通を一部の地域からでも導入したい。

資源循環型の生ごみ堆肥化施策を実現すべき 国民健康保険の窓口払い減免基準を設ける。

日本共産党
吉村 美津子



問 日本は、世界で二酸化炭素排出が4番目に多い国。政府は、企業に排出削減計画をたてさせるべきと思うが実行されていない。

焼却は、地球温暖化の原因となる。また、健康への影響では、ぜんそくを誘発する窒素酸化物、発ガン性や変異原性をもつ二口多環芳香族炭化水素、肺ガンなど発ガン性の微小粒子状物質や粉じんなどの有害物質が排出する。

大気汚染により毎年、光化学スモッグ注意報が発令されている。

自治体は、焼却を抑制し、資源循環型社会構築のために、生ごみの堆肥化を實行すべき。生ごみ投入割合は。

答 環境課長 43%となる。

問 他自治体の視察研修を。

答 環境課長 生ごみの堆肥化施策は大事であり、環境衛生対策審議会でも研究していく。視察は行いたい。



医療費の窓口払い減免

問 前より質問の医療費の窓口払いの一部負担金減免基準作成はいつになるのか。

答 住民課長 来年4月を考えている。

問 通院も加えるべきだが、検討はしてみたい。

答 住民課長 検討はしてみたい。

指定管理者の拡大はやめよ

問 国は2003年、「公の施設」の管理運営を指定管理者へ導入できるとした。住民の税金で建てた「公の施設」を企業の収益事業とするものである。「公の施設」は、住民の福祉増進のためにある。「公の施設」は、設置者の地方自治体が管理運営を行うことが原則である。指定管理者の拡大は、するべきではないがどうか。

答 町長 様々な視点より考えていきたいと思う。